

**緊急!**

## 水害被害後の対策について(水稻)

9月8日から9日にかけて降水量が194mm(アメダス 山田)に達する大雨となった影響で、いわき市南部を中心に水稻では冠水や土砂流入、倒伏などの被害が発生しています。品質維持や土の混入を防ぐために以下のことに注意して収穫・乾燥・調製を行ってください。

### 今後の技術対策

- 1 浸水・冠水した場合は、速やかに排水対策を実施し地耐力の向上を図り、早期に刈り取りを行ってください。  
※今年はお穂以降、概ね高温で推移したため、天のつぶ・コシヒカリはすでに刈り取りができる積算気温になっています。
- 2 倒伏した場合は速やかに株起こしを実施し、穂発芽させないようにしましょう。なお、株元が損傷している場合は、隣接する株の上に穂をのせる程度としてください。
- 3 浸水・冠水、土砂流入等のほ場では、刈り取り作業前にほ場内を点検し、流木や石等の異物を取り除いてください。
- 4 倒伏や冠水被害の程度により、刈り分けを実施しましょう。土が混入しないように注意して刈り、区分して乾燥・調製を行ってください。また、ほ場内の土砂流入箇所や崩落箇所へは、危険ですので決して近づかないようにしましょう。
- 5 乾燥・調製は丁寧に行い、特に品質を確保するために色彩選別機等を積極的に活用してください。

◆ 不明点等があれば連絡ください

いわき農林事務所 0246-24-6161

**緊急!**

## 水害被害後の対策について(野菜等)

### 1 ほ場での排水対策

- ほ場の停滞水は、溝切りやポンプ等で速やかに排水してください。
- 根を切らないように、ぬかるむほ場内に無理に入らないでください。
- 施設内の湿度は、長時間締め切っていたことにより高まっているため、天候が回復次第、換気に努めましょう。
- 通路部に土砂が流入した場合は、出来る限り堆積した土砂をほ場外に持ち出し、通気性の確保のために、乾燥後に通路表面を浅く耕起しましょう。
- 可食部が冠水した果菜類や葉茎菜類は、衛生確保のために出荷を控えましょう。茎葉に泥土が付着している場合は、光合成能力の回復や衛生確保のために、動力噴霧機などにより水をかけて洗い流し、適切な薬剤散布を行いましょう。
- マルチを行っている畝が浸水した場合、マルチ下の土壌水分が過多となりやすいので、マルチを一時的にはいで畝を乾燥させましょう。

### 2 殺菌剤の散布

- 冠水ほ場は作物が弱り、病害にかかりやすくなっているため、直ちに薬剤による防除を行いましょう。
- 併せて、作物に付着した泥土を洗い流しましょう。  
＜散布薬剤例：作物内に浸透する、かつ、対象が広い剤＞別紙参照  
※散布できる作物か、必ずラベルを確認してください。

### 3 草勢回復の促進

- 根傷み等により、草勢が低下しているため、以下の対策で草勢の回復に努めましょう。
  - ① 根を動かすために、酸素資材（MOXなど）や、発根促進剤（チャンス液）を施用しましょう。
  - ② 根からの養分吸収が低下するため、葉面散布（メリット黄など）を行いましょう。
  - ③ 著しく草勢が低下している場合は、摘果を行い、作物への負担を軽減しましょう（トマト、きゅうりなど果菜類）。

### 4 トマト

- 浸水した場合は、施設の換気やマルチ除去により土壌の乾燥を図り、通気性の確保を早急に行いましょう。
- 茎葉に付着した泥や木くず等は、動力噴霧器できれいな水を用いて洗い流すとともに、疫病、灰色かび病及び葉かび病等の防除を行いましょう。
- 損傷を受けた果実や裂果等の不良果の摘果を行い、着果負担を減らし、草勢の維持を図りましょう。
- 液肥のかん注や窒素入り葉面散布剤を施用し、草勢の維持・回復を図りましょう。ただし、摘芯後の施肥は行わないようにしましょう。

### 5 ねぎ

- 浸水した場合は、排水後の土壌の乾燥を待ち中耕を行い、通気性の確保を行いましょう。
- 病害感染の拡大抑制のために、べと病、さび病及び黒斑病等の防除を行いましょう。
- 倒伏したものは直ちに起こし、再度土寄せを行いましょう。
- 中耕時には速効性肥料を追肥し、草勢の回復を図りましょう。

## <水害後に散布する薬剤例>

### ○トマト（収穫前日まで使用できる薬剤）

薬剤系統	農薬名	適用病害	希釈倍数	散布液量 (L/10a)	使用回数
1	ベンレート 水和剤	灰色かび病、葉かび病	2000～ 3000倍	100～300	5回以内
1、10	ゲッター水和剤	灰色かび病、葉かび病	1000～ 1500倍	100～300	5回以内
11	ファンタジスタ 顆粒水和剤	灰色かび病、 葉かび病、すすかび病	2000～ 3000倍	100～300	3回以内

### ○ミニトマト（収穫前日まで使用できる薬剤）

薬剤系統	農薬名	適用病害	希釈倍数	散布液量 (L/10a)	使用回数
1	ベンレート 水和剤	灰色かび病、葉かび病	2000～ 3000倍	100～300	3回以内
1、10	ゲッター水和剤	灰色かび病、葉かび病	1500倍	100～300	3回以内
11	ファンタジスタ 顆粒水和剤	灰色かび病、 葉かび病、すすかび病	2000～ 3000倍	100～300	3回以内

### ○ねぎ

薬剤系統	農薬名	適用病害	希釈倍率	散布液量 (L/10a)	使用回数	使用時期等
M1	ヨネボン 水和剤	軟腐病、べと病、さび病、 黒斑病	500倍	100～300	4回	収穫7日前まで
P7	アリエッティ水 和剤	疫病、べと病	800倍	100～300	3回	収穫3日前まで
M5	ダコニール 1000	べと病、さび病、黒斑病、 小菌核腐敗病	1000倍	100～300	3回	収穫14日前まで
11	アミスター20 フロアブル	べと病、さび病、黒斑病	2000倍	100～300	4回	収穫3日前まで
11	メジャーフロア ブル	黒腐菌核病、黒斑病、 さび病、べと病、白絹病、 小菌核腐敗病	2000倍	100～300	3回	収穫前日まで

◆ 不明点等があれば連絡ください

いわき農林事務所 0246-24-6162